

わだち

才能より人格～笑顔の登校 感謝の下校～

文責 村上 豊優

交通安全教室 4月27日(木)

毎日の登下校や地域で交通事故から命を守っていただいている荒尾市役所の防災安全課の2人の方と、日頃から地域で子どもたちを見守っていただいている交通安全指導員の方々に来校していただき、交通安全教室を実施しました。

1・2年生は、横断歩道の渡り方や道路の歩き方を学習し、実際に道路でみんなで確かめました。1年生は3月までとは違い、4月からは自分で歩いて登下校しています。登校班での登下校時は、上級生たちが一緒なので集団で交通事故から身を守ることができそうですが、下校時は1年生だけで帰ることもあり、一人一人が自分で自分を守らなければなりません。とても大事な学習でした。学校では子どもたちに、「横断歩道では、自分が渡る信号が青になっても、必ず車がないか、止まってくれたかを確認してから渡るようにします。」と指導しています。104歳で亡くなった私の祖父も別れる時はいつも「自分がどんなに注意していても、相手がぶつかってくることがあるから気をつけなさい。」と話していました。今日もどこかで交通事故は起きています。まず、自分の命は、自分で守らなければならないと思います。どうかご家庭でも子どもたちに交通事故に遭わないようにご指導をお願いいたします。

3～6年生は、自転車の安全点検の仕方や安全な乗り方を学びました。道路を歩くこと以上に自転車で通行するのは危険がともないます。特に、3年生からは、地域内(自宅のある行政区内)を自転車で乗れるようになります。ぜひご家庭でご指導をお願いいたします。自転車は、とても便利で楽しい乗り物だと思います。しかし、危険な乗り物でもあります。本年度から、自転車には自動車と同じように損害保険への加入が義務づけられています。実際に道路で安全に走行でき、楽しく自転車に乗れるように心から願います。交通安全教室で学んだことで子どもたちの命が守られますように、これからも繰り返し指導していきます。ご家庭や地域でもご指導いただきますようお願いいたします。

余談ですが、市の方も含め、数人の外部の方から「この学校のお子さんはいろんな人によくあいさつができますね!」とお褒めの言葉をいただきました。とってもうれしかったです。清里小学校みんながあいさつで褒められています。みんながんばっていますね。

避難訓練 ～ 震災から命を守るために ～ 4月25日(火)

東日本大震災、熊本地震、豪雨災害等で多くの命が奪われ、家やまちが壊され、未だ復興の途中です。私は東日本大震災後、あの大川小へ行き、熊本地震後、益城中央小学校の学校再開を支援させていただきました。益城中央小学校の児童の登下校の支援をする中で私の手を強く握った小さな手を忘れません。地震等の自然災害はいつ起こるか分かりません。命を守るために全校で避難訓練を実施し、合い言葉「自分の命は自分で守る 人の命はみんなで守る」を確認しました。DVD を視聴しながら洪水と雷、竜巻についても学習しました。大切な命を守り生きるために子どもたちに判断力と行動力を身に付けてほしいです。ご家庭でもご指導をお願いいたします。